

「数字で振り返る ベトナム 2020 年」

石川 幸

2020 年は新型コロナウイルス（以下コロナ）が蔓延し、世界経済全体として厳しい 1 年となりました。

ベトナムでは 1 月後半から徐々に影響が始め、3 月下旬から 4 月下旬の約 1 カ月にわたり実施されたロックダウン（社会隔離措置）により、店舗内での飲食が全面禁止となるなど、経済は大きなダメージを受けました。また、現在に至るまで人の移動に制限が設けられており、コロナの収束は見通せない状況が続いています。

今回はベトナムにとって 2020 年がどのような 1 年であったか、経済指標を確認しながら振り返ります。

＜GDP～ベトナムの国内総生産～＞

ベトナム経済の 2020 年経済成長率は 2.91%（第 1 四半期+3.68%、第 2 四半期+0.39%、第 3 四半期+2.69%、第 4 四半期：+4.48%）増加する見通しです。これは、10 年間で最も低い水準ですが、コロナが世界的に猛威を振るう中、ベトナム政府による迅速な対応が功を奏し、世界的にみれば高い経済成長率を維持したといえます。

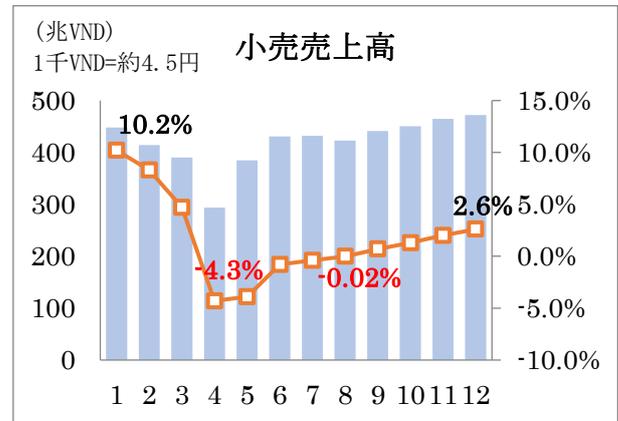


＜小売売上高＞

ロックダウンの影響により、4 月の販売額は前年同期比（1 月～4 月合計）マイナス 4.3%と急減しました。しかし、その後は順調に回復し 9 月以降、前年同期比の販売額はプラスに転じ、通年では+2.6%にて着地しました。

海外との移動制限により、「ホテル・レストラン」「観光」などが前年比マイナスだった一方、「販売」は好調だったため、前年比プラスとなりました。

実際にベトナム国内では日常生活においてコロナの影響はあまり感じられません。

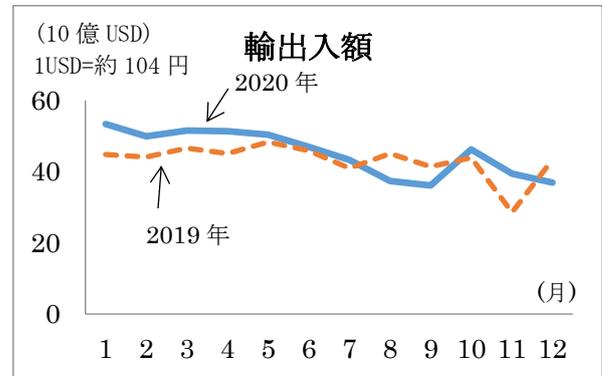


（左軸）単月売上額、（右軸）前年同期比

＜貿易額＞

輸出入は堅調に推移し、今年の輸出入額合計は前年比+5.1%の 5,439 億ドル、輸出+6.5%で 2,815 億ドル、輸入+3.6%で 2,624 億ドルと推定されています。

貿易面では、年間を通してみるとコロナが与えた影響は小さかったようです。



＜終わりに＞

2020 年は世界的に苦しい 1 年となりました。ベトナムも例外ではなく、コロナが経済活動に大きな影響を与え、今なお続いています。しかし、ベトナム経済の回復スピードは非常に早く、2021 年の経済成長率は 6%後半が予想されています。

コロナによりネガティブな話題が多い 1 年であったと同時に、ベトナム経済の力強さを示した年だったとも言えるでしょう。

※グラフ出典元：ベトナム統計総局（The General Statistics Office of Vietnam）